

すこしの工夫で驚くほど快適に!

くらしの整理収納術



収納アイテムを購入

品質とコスパを両立、白基調で統一感も

事前に計測した収納スペースのサイズに合わせた収納グッズを購入。相談者の要望を踏まえ、白くて長期使用に耐える品質の取っ手付きケースで統一感を出した。透明の書類ケースや突っ張り棒&専用棚板は、シンク下収納に使う。

今月のポイント!

- 見える場所で使う収納グッズは種類や色をそろえると統一感が出る。
- 高さや扉の内側などを有効に使えば、収納力が大幅にアップする。

コンロ下の戸棚

ジャンルごとに書類ケースで分類

自立性の高い書類ケースで調味料やフタ類などをジャンル別に収納する。取っ手付きのため必要なジャンルまるごと引き出せて利便性も抜群。透明なので側面からも中身が確認できる。汚れても洗って清潔に使えるのもメリット。



扉背面のひと工夫

扉の内側はアクセス抜群

シンク下の扉の内側には金属のメッシュを設置し、自由な場所にフックを取り付けられるようにした。今回は、水回りで使うチャック付きナイロン袋などをしまう。扉を開いてすぐに取り出せる“特等席”を有効に活用する。



〈実践編〉アパートのキッチン②

収納スペースが限られたアパートのキッチンを片付ける第2回。今回は、収納場所ごとにサイズを合わせた収納グッズを購入し、シンク下に調味料や調理器具などを用途別に分類した。



シンク下の戸棚

突っ張り棒+専用棚板で排水設備を避け2段活用

突っ張り棒2本にはめ込む専用の棚板を使い、排水設備を避けるように棚板を設置。シンク下の高さを生かして収納力を拡張した。下段には電子ジャーや精米機、耐熱容器などの重量物、棚板には取っ手付きのカゴを載せ、顆粒や袋類を整理した。

次号では、シンク上の戸棚の整理を紹介!

教えてくれたのは…
整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生として「住まい方アドバイザー」の勉強中。

